ブルコンバリアー

取扱説明書

この度は、ブルコンバリアーシリーズをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本製品の優れた数々の機能を十分に活用して頂く為に、この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
この取り扱い説明書は必ず大切にお手元に保管してください。
本説明書はTYPE－A及びTYPE—B共通となっております。

製造・販売元 **フジ電機工業株式会社**

〈本　　社〉〒534-0026 大阪市都島区網島町７番３５号
TEL06-6358-4409（代）FAX06-6358-1880
〈サービスセンター〉〒669-4132 兵庫県氷上郡春日町野村537-539
TEL0795-74-2177 FAX0795-74-2187

目　次

商品付属構成——タイプA・B共通

安全上のご注意—必ずお読み下さい。

ご使用の前に、この安全上のご注意をよくお読みの上、正しくお使いください。
この取り扱い説明書には、製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな注意事項を表示しております。また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を警告・注意の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。その表示の内容は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。

警　告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡又は、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注　意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警　告	指定以外の電圧では使用しないでください。この機器はDC12・24V・マイナスアース車専用です。火災・感電・故障の原因となります。
	電源コードを傷つけないでください。無理な曲げ、ねじり、引っ張りや、加熱加工など加えないよう、ご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。
	本機を取り付ける際、電源の極性（+・−）を間違えないよう注意してください。火災・感電・故障の原因となります。
	本機を取り付ける際、電源側（+12・24V）のコードが車体の金属部分に触れないようご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。
	分解したり、改造したりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	本機に水が入らないようにしてください。万一水が入った時は、電源を抜いてから取り扱い店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
	煙がでる、変な臭いや音がする場合、機器の使用を中止し直ちに電源を抜いて安全を確かめてから修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。
	車内に生物（人間・ペット等）がいる状態で本機を使用しないでください。聴覚障害を起こす恐れがあります。
	使用済み乾電池を火中に投げ入れる行為及び、充電はしないでください。爆発の恐れがあり、火災・けがの原因になります。
	本機の取り付け、配線、使用方法を間違うと車両の装置、機器類を破損又は、損傷する恐れがあり、火災・感電・故障の原因となります。

注　意	本機の取り付けの際には、他の機器に影響を与えない場所及び、運転に差し支えのない場所に設置してください。
	本機の取り付けの際には、各部品は確実に固定してください。固定が不十分ですと本機が正常に作動しない又は、故障の原因となります。
	本機のコネクターの抜き差しは、必ずコネクターを持って行なってください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・故障の原因となります。
	車両のバッテリーが弱っている状態及び、車両本体の機能に不備がある場合には、本機を使用しないでください。本機が正常に作動しない又は、車両機器に影響を与える恐れがあります。
	エンジンルーム内に取り付ける際、過度の熱や水などが本機に影響を与えそうな場所への設置はしないでください。故障の原因になります。

使用上のご注意—必ずお読み下さい。

注　意	本機は電波を使用していますので、周囲の環境等により電波の届く距離が短くなる場合があります。
	本機は超高感度センサーを使用しています。感度を上げすぎますと誤報の原因になりますのでご注意ください。又、センサーの設置場所等により感知状況が異なります。必ずテストしてください。
	リモコン電池が消耗してくると電波の届く距離が短くなりますので、電池を新品に交換してください。
	リモコンの電池寿命は約6ヶ月間ですが、使用状況によって短くなる場合があります。又、付属の乾電池は動作チェック用の為、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
	リモコンは長時間直射日光の当たる場所に放置しないでください。又、落としたり水に濡れないように十分ご注意ください。
	本機を作動させたまま、長時間（2週間以上）放置しないでください。バッテリー上がり等の原因になります。
	特に激しい雷雨、豪雨の時は誤報する恐れがあります。
	本機を作動させたまま車両を走行させないでください。事故の原因となります。
	外車等、車種により本機の取り付けが不可能の場合があります。
	オプションパーツをご使用の場合、各製品に付属しています取扱説明書を必ずよくお読みになってください。
	誤った取り付け方や使用方法による事故等に関しましては、当社では責任を一切負いません。
	本機は高性能な自動車盗難予防器です。盗難防止器ではありません。万一発生した盗難事故やいたずら等による損害等、当社は一切責任を負いません。又、故障、誤作動等により本機が使用できなかったことによる付随的損害等の保証についても当社は一切責任を負いかねますので、予めご了承ください。

ブルコンバリアーシリーズの特徴

視覚的防御機能

本体スタンバイ時、高輝度LEDの点滅により犯罪を心理面において予防します。また、リモコンでの各モードの設定時にLEDの点滅にて確認できますのでご購入されることをお勧めします。オプションのLEDキットは赤・青・白の3色から選べま

超高感度スーパーセンサーII搭載（特許出願中）

スーパーセンサーの精度をさらにアップ。ボディはもちろんタイヤ・ガラス・TVアンテナ等への微震を素早くキャッチ！車上狙いからあなたの車を守ります。

ダブルガードシステム搭載

スーパーセンサーが車両への微震を素早く感知、万がードアーを開けられても電流センサー・ドアスイッチセンサーが警報する安心のダブルガードシステムです。

リモコンによる8段階音量調整機能（特許出願中）

リモコンにより1～8段階の警報音量の調整が行えますので、駐車場所に応じた警報音の設定ができ、大変便利です。

リモコンによる8段階感度調整機能

リモコンにより車外から1～8段階の感度調整が行えますので、駐車場所に応じた設定ができ、大変便利です。

リモコンIDコード設定機能（特許出願中）

IDコードはお客様が自由に変更・設定が行えますので、ご家族でお使いの際、幾つでも増設できます。また、紛失されたとしても、新たにリモコンをご購入していただくだけで、メインユニットやリモコンの返却等、わずらわしい登録手続きなどは必要ありませ

ターボタイマー・エンジンスターター付き車の対応

BARRIERはエンジン始動中又は停止であるかを自動認識する為、誤作動の心配はありません。（IG線の配線が必要です。）

多彩なオプションパーツ

タイプAはLEDキット・追加リモコンのみオプション対応。

オプション

■タイプA

●リモコンを増設したい人に…
　追加リモコン……………（BR−80A:標準価格**8,000**円）

■タイプB

●リモコンを増設したい人に…
　追加リモコン……………（BR−98B:標準価格**9,800**円）

●ドアの鍵穴や気になる所を直接ガード
　キーセンサー……………（BS−98K:標準価格**9,800**円）※1

●車両の当て逃げ、ガラスの破損等の衝撃音を瞬時にキャッチ！
　サウンドセンサー…………（BS−98S:標準価格**9,800**円）※1

●キーセンサー・サウンドセンサーの受信ユニットです。
　レシーバーユニット………（BS−42R:標準価格**9,800**円）※1

●車両のスモールライトを警報時に点滅させます。
　スモールフラッシュ………（BF−39L:標準価格**4,200**円）

●ドアロックの開閉をBARRIERのリモコンで操作できます。
　ドアロックユニット ………（BD−62Y:標準価格**6,200**円）

●ドアロックモーターの装備されていない車に必要です。
　ドアロックモーター ………（BD−59M:標準価格**5,980**円）

■タイプA・タイプB共通オプション

●本体スタンバイ時、光で威嚇、お洒落な高輝度LED（3タイプ）
・LEDキット（白）…………（BL−24W:標準価格**2,480**円）
・LEDキット（青）…………（BL−24B :標準価格**2,480**円）
・LEDキット（赤）…………（BL−24R :標準価格**2,480**円）

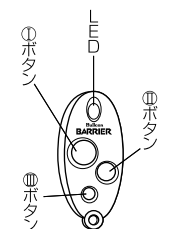
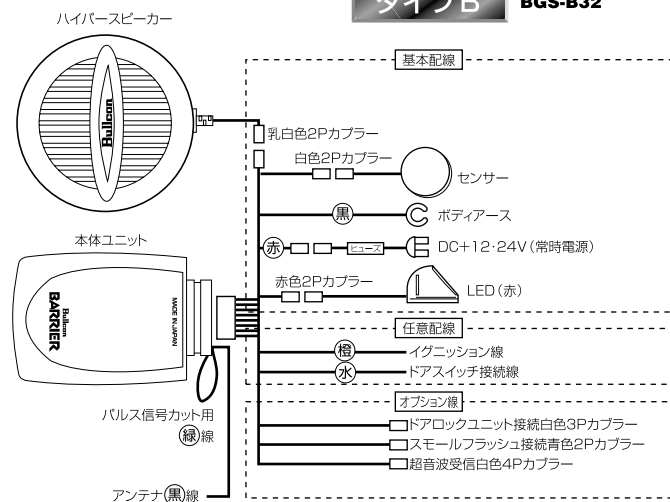
※1 キーセンサー・サウンドセンサーを取り付ける際、レシーバーユニット、が必要です。

改正電波法適合リモコン

各部名称及び取り付け概要

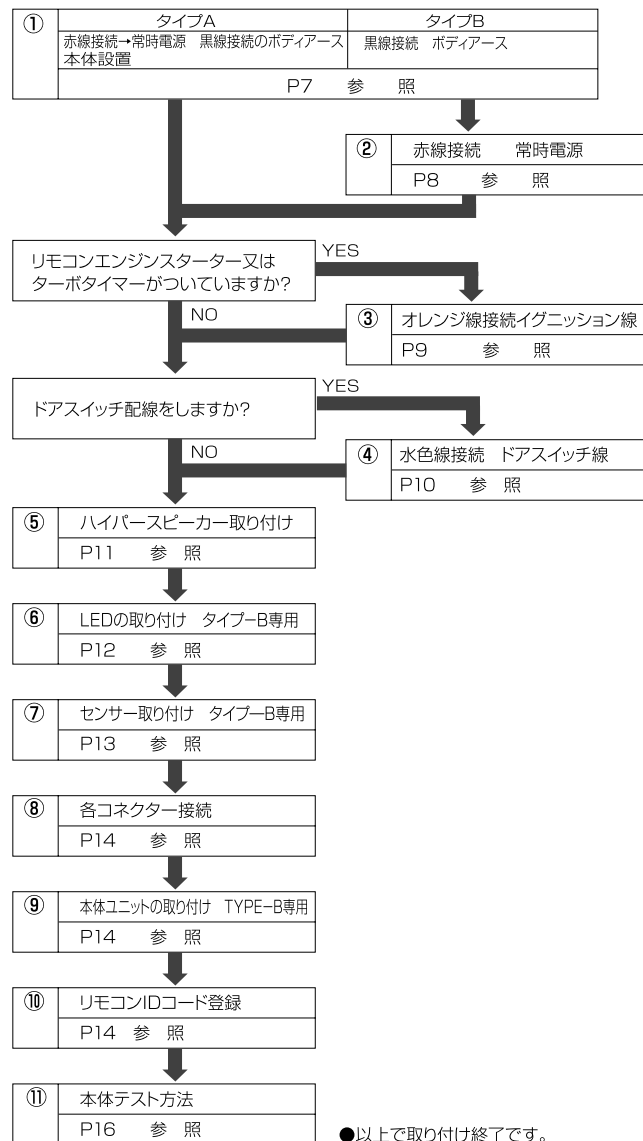
タイプA　BGS-A19

2チャンネル式リモコン

タイプB　BGS-B32

3チャンネル式リモコン

※Ⅲボタンは
オプションパーツ取付時
使用（ドアロックユニット）、
通常は音のみで本体動作
はしません。

取り付けの流れ——タイプA・B共通

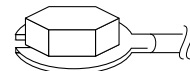
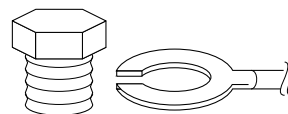
●以上で取り付け終了です。

配線方法《1》常時電源・ボディアース・本体設置 タイプA専用

赤　線………常時電源　／　黒　線………ボディアース

①エンジンを停止して、ボンネットを開けます。
②本体ユニットから出ている黒線をバッテリーの−端子に接続します。
③本体ユニットから出ている赤線をバッテリーの＋端子に接続します。
④本体ユニットをエンジンルーム内の熱の影響を受けにくい場所へ固定します。この時、本体内部にセンサーが内蔵されていますので左右側面等、車の振動を受けやすい場に確実に固定してください。
⑤アンテナ線以外の配線をコルゲートチューブ等使用して車両の機能に影響が出ないように保護してください。

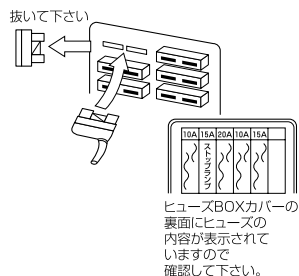
注　意	アンテナ線は金属部分に触れないようにご注意してください。又、アンテナ線を切断、収納しないでください。本体ユニット内部にセンサーが内蔵されています。

黒　線………ボディアース　　タイプA・B共通

①本体ユニットから出ている黒線を塗装されていないビス等に確実に固定します。この時、サーキットテスターを使用して導通を確認して下さい。

注　意	ボディアースが不完全ですと、本体ユニットが作動しない又は、誤動作する恐れがあります。
	オーディオ等、他の電子機器と同じ場所でアースを取らないでください。誤動作する恐れがあります。

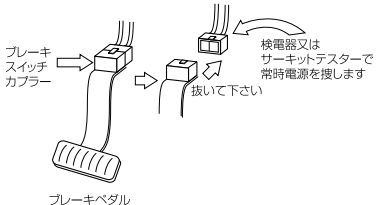
配線方法《2》常時電源線　タイプB専用

次の4通りの中から接続場所を選択して下さい。

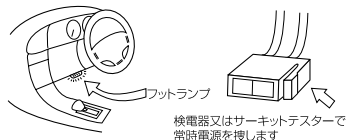
A）ヒューズBOXから電源を取る場合

①ヒューズBOXのカバーを外し、カバーの裏面に表示されているヒューズの内容を確認して下さい。
②ストップランプヒューズ等、エンジンキーがOFFの時でも電圧がかかるヒューズを、検電器又は、サーキットテスターで捜し出し付属のワンタッチ電源と差し替えます。

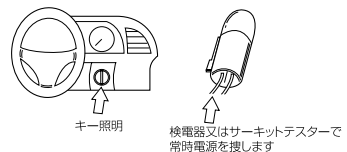
ポイント 常時電源ヒューズ…ストップランプ・ドアロック・ハザード・ルームランプ等があります。

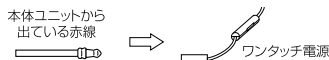
注意	付属のワンタッチ電源は15Aヒューズです。アンペアが異なる場合はアンペアが合ったものを使用してください。　●別売/ワンタッチ電源・・・定価¥480
	ヒューズを抜いた際、ラジオ、オーディオ等のメモリーが消去される恐れがありますので、メモリーの確認をしていただき消去された場合は、再度登録をおこなってください。
	抜き取ったヒューズは大切に保管してください。

B）ブレーキスイッチから電源をとる場合

①ブレーキペダル軸の上部にブレーキスイッチのカプラーがありますので、そのカプラーを抜き取り、検電器又はサーキットテスターでエンジンキーがOFFの時でも電圧がかかる線を捜します。
②ワンタッチ電源のヒューズ部分を切断して"①"で捜し出した常時電源に接続して確実に絶縁してください。
③抜いたカプラーを元通りに差し込みブレーキペダルを踏んでストップランプが点灯することを確認してください。

注意	ブレーキペダルの機能を損なわないように配線をおこなってください。

C）運転席下フットランプから電源を取る場合――フットランプ付き車に限る。

①運転席足元にありますフットランプを外します。裏側に2Pカプラーがありますので、検電器又は、サーキットテスターでエンジンキーがOFFの時でも電圧がかかる線を捜します。
②ワンタッチ電源のヒューズ部分を切断して"①"で捜し出した常時電源に接続して確実に絶縁してください。
③外しましたフットランプを元通りに戻します。

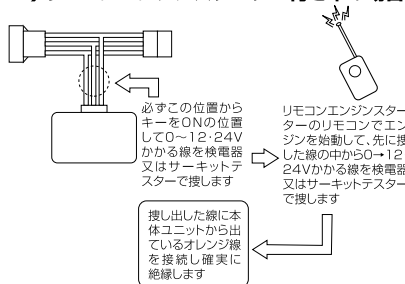
D）キー照明から電源を取る場合――キー照明付き車に限る。

①キーシリンダー周辺のカバーを外し、キー照明のランプソケットを捜します。キー照明のランプソケット下に2Pカプラーがありますので、検電器又は、サーキットテスターでエンジンキーがOFFの時でも電圧がかかる線を捜します。
②ワンタッチ電源のヒューズ部分を切断して"①"で捜し出した常時電源に接続して確実に絶縁してください。
③外しましたキーシリンダー周辺のカバーを元通りに戻します。

最後に、ワンタッチ電源のキボシ端子を本体ユニットから出ている赤線と接続します。

注意	上記4通りの場所で電源が取れない場合は、他の常時電源から取り出してください。

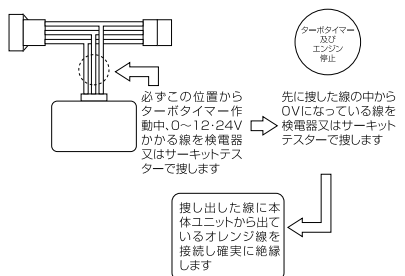
配線方法《3》イグニッション線〈任意配線〉タイプA・B共通

オレンジ線……イグニッション線〈任意配線〉タイプA・B共通

●リモコンエンジンスターター・ターボタイマー付き車は必ず配線をおこなってください。

A）リモコンエンジンスターター付き車の場合

①リモコンエンジンスターター取り付け専用ハーネスを捜します。
②リモコンエンジンスターター取り付け専用ハーネス内の線から検電器又はサーキットテスターで、キーをOFFからONの位置にした時、0～12・24Vがかかる線を捜します。
③キーをOFFにしてリモコンエンジンスターターのリモコンでエンジンを始動します。この時、"②"で捜した線の中から0～12・24Vかかる線を捜し、本体ユニットから出ているオレンジ線を接続して確実に絶縁してください。

注意	必ずリモコンエンジンスターター取り付け専用ハーネス内の線にオレンジ線を接続してください。
	リモコンエンジンスターター側の特性により対応できない場合があります。

B）ターボタイマー付き車の場合

①ターボタイマー取り付け専用ハーネスを捜します。
②エンジンを始動します。
③エンジンキーをOFFにして、ターボタイマーを作動させます。
④ターボタイマー取り付け専用ハーネス内の線から検電器又は、サーキットテスターで12・24Vかかる線を捜します。
⑤ターボタイマーが停止（エンジン停止）した状態で"④"で捜した線の中から0Vになっている線を捜し、本体ユニットから出ているオレンジ線を接続して確実に絶縁してください。

注意	必ずターボタイマー取り付け専用ハーネス内の線にオレンジ線を接続してください。
	ターボタイマー側の特性により対応できない場合があります。

C）リモコンエンジンスターターとターボタイマーを装着している車の場合

①先の項目をA）・B）両方おこなっていただき、共通している線に本体から出ているオレンジ線を接続して確実に絶縁してください。

D）リモコンエンジンスターター・ターボタイマーどちらも装着していない車の場合

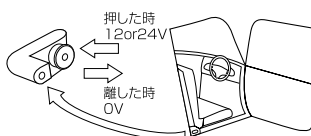
配線しなくても
機能上問題は
ありません

①キーをONの位置にした時に0～12・24Vかかる線を検電器又は、　サーキットテスターで捜し本体ユニットから出ているオレンジ　線を接続して、確実に絶縁してください。

配線方法《4》ドアスイッチ線〈任意配線〉

エンジン停止後、電流が変化する車（エアサスキット付車等）は、本体ユニットから出ているパルス信号線（P5参照）を切断して、必ずこの配線をおこなってください。

水色線……ドアスイッチ線〈任意配線〉タイプA・B共通

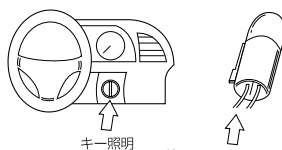
A）ドアスイッチ部から配線する場合

①ドアスイッチを押した時（ドアを閉めた状態）に12･24V
　ドアスイッチを押していない時（ドアを開いた状態）に0Vになる線を検電器又は、サーキットテスターで捜し、本体ユニットから出ている水色線に接続して、確実に絶縁してください。

注意	車によってはドアスイッチが独立になっている場合があります。この場合、ピラー内又は、ジャンクションボックス内のドアスイッチ線等に接続してください。

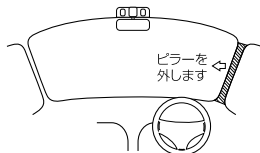
B）運転席下フットランプから配線する場合――フットランプ付き車に限る

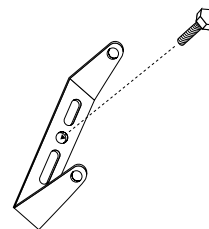
①ドアを開けてフットランプが点灯する事を確認します。
②フットランプを外します。
③裏側に2Pカプラーがありますので検電器又は、サーキットテスターで0Vの線を捜し次に、ドアスイッチを押した時（ドアを閉めた状態）に12･24Vがかかる線を捜します。
④③で捜し出した線に本体ユニットから出ている水色線を接続して、確実に絶縁してください。
⑤外しましたフットランプを元通りに戻します。

注意	車によってはドアスイッチが独立になっている場合があります。この場合、ピラー内又は、ジャンクションボックス内のドアスイッチ線等に接続してください。

C）キー照明から配線をする場合――キー照明付き車に限る。

①ドアを開けて、キー照明が点灯する事を確認します。
②キーシリンダー周辺のカバーを外し、キー照明のランプソケットを捜します。
③キー照明のランプソケット下に2Pカプラーがありますので、検電器又は、サーキットテスターで0Vの線を捜し、次にドアスイッチを押した時（ドアを閉めた状態）に12･24Vがかかる線を捜します。
④③で捜し出した線に本体ユニットから出ている水色線を接続して、確実に絶縁してください。
⑤外しましたキーシリンダー周辺のカバーを元通りに戻します。

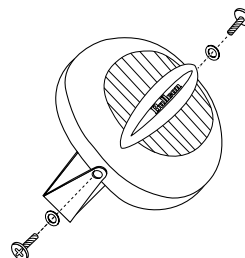
注意	車によってはドアスイッチが独立になっている場合があります。この場合、ピラー内又は、ジャンクションボックス内のドアスイッチ線等に接続してください。

D）ピラー内から配線をする場合

①運転席側のピラーを外します。
②検電器又は、サーキットテスターで0Vの線を捜し、次にドアスイッチを押した時に12･24Vがかかる線を捜します。
③②で捜し出した線に本体ユニットから出ている水色線を接続して確実に絶縁してください。

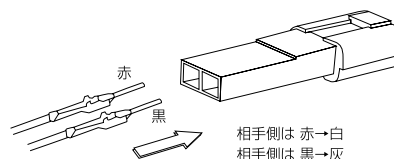
ハイパースピーカー取り付け――タイプA・B共通

■付属の固定金具を設置

①ボンネットを開け、スピーカーの取り付け位置を確認します。
　フロントグリル内･バッテリー周辺･ウォッシャータンク周辺等外部に音が伝わりやすい場所。
②付属の固定金具をエンジンルーム内設置済みのボルト又は、付属のボルトを使用して確実に固定してください。
　付属のボルトを使用する場合、エンジンルーム内の捨て穴等を利用してください。

注意	スピーカー本体は日常防水になっていますが、なるべく水や熱の影響を受けない場所を選んでください。
	固定が不十分な場合、車両や機器に破損等トラブルの原因となる恐れがありますのでご注意ください。

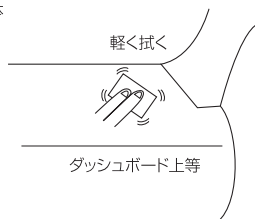
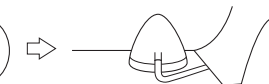
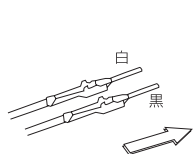
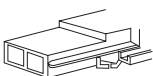
■固定金具にハイパースピーカを固定

①ハイパースピーカーを固定金具に確実に固定してください。
②ハイパースピーカーから出ている2芯線（赤／黒線）を車内に引き込みます。（タイプBのみ）

注意	ハイパースピーカーは確実に固定してください。
	スペース等の問題で固定金具を設置した後にハイパースピーカーが取り付けできない場合は、先にハイパースピーカーを固定金具に取り付けた後、固定金具を設置してください。

■乳白色2Pカプラーのセッティング

①付属の乳白色2Pカプラー左側に赤線、右側に黒線を差し込みます。カプラーのロックピンがある方が上部になります。
②カプラーに差し込んだ配線を軽く引っ張り抜けない事を確認します。

注意	配線の左右を間違えますとスピーカーを破損する恐れがあります
	端子の差込みが不十分ですと接触不良の原因になる恐れがあります。

12 LEDの取り付け—タイプB専用

■LED設置の準備

①車内のダッシュボード上等、LEDの固定場所を決めます。
※視覚的防御の効果がありますので車外から見える位置がおすすめです。
②固定場所が決まりましたらティッシュペーパー等に少量の中性洗剤等を含ませたもので軽く拭き、油分を取り除きます。
この時、洗剤等が残らないよう注意して、よく乾燥させてください。

■LEDの取り付け

①取り付け面が乾燥している事を確認してしっかりと固定してください。
②配線を運転等に差し支えのないように処理します。

■赤色2Pカプラーのセッティング

①付属の赤色2PカプラーにLED端子の白線を左側、右側に黒線を差し込みます。ロックピンがある方が上部です。
②カプラーに差し込んだ配線を軽く引っ張り抜けない事を確認し端子をロックします。

注　意	配線の左右を間違えますとLEDを破損する恐れがあります。
	端子に差込みが不十分ですと接触不良の原因となる恐れがあります。

センサーの取り付け—タイプB専用 13

足元キックパネル内ボディ

ハンドルフレーム部分

オーディオ付近裏側

■スーパーセンサーⅡ設置の準備

①左図を参考にしてスーパーセンサーⅡの固定場所を決めます。
②固定場所が決まりましたらティッシュペーパー等に少量の中性洗剤等を含ませたもので軽く拭き、油分を取り除きます。
この時、洗剤等が残らないよう注意して、よく乾燥させてください。

■スーパーセンサーⅡ取り付け

①取り付け面が乾燥している事を確認して、しっかり固定してください。
※センサーの上から、ガムテープ等を張りつけてください。
取り付ける位置又は車両の種類により感度が左右する事があります。

注　意	フレーム又は、金属部分に確実に固定してください。 固定が不十分だと誤作動する恐れがあります。 センサーに配線が接触しないよう注意してください。

■スーパーセンサーⅡ取り扱い上の注意

①精密部品ですので直接衝撃をあたえないで下さい。破損する恐れがあります。
②センサーを取り付けるまで保護カバーを付けたまま施工配線を行って下さい。

注　意	センサー部を落下させたり必要以上の衝撃を与えるとセンサーが破損し反応しなくなります。

各コネクターの接続・本体ユニットの取り付け

■各コネクターの接続　タイプA・B共通

①本体ユニットから出ています各種コネクターを同色どうし確実に接続します。

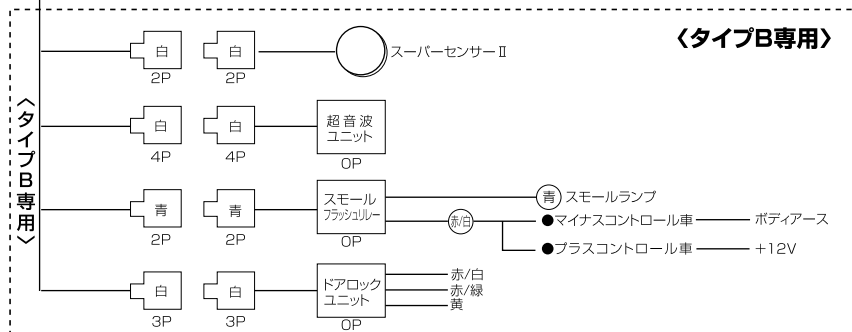
注　意	赤色2Pカプラーを差し込んだ時、室内設置LEDが点滅します。点滅しない場合―常時電源・アース等の配線及び赤色2Pカプラー内の線の位置を確認してください。（P12参照）タイプAの場合、オプションパーツのLEDキットが必要です。

■本体ユニットの設置の準備　タイプB専用

①左図を参考にして本体ユニットの固定場所を決めます。
②固定場所が決まりましたらティッシュペーパー等に少量の中性洗剤を含ませたもので軽く拭き、油分を取り除きます。
この時、洗剤等が残らないよう注意して、よく乾燥させてください。

■本体ユニットの取り付け　タイプB専用

①本体ユニットに付属の両面テープを貼り付け、取り付け面が乾燥している事を確認してしっかり固定してください。

注　意	本体ユニットは確実に固定してください。
	運転の妨げにならない場所及び、車の機能に影響が出ない場所に固定してください。

リモコンIDコードを本体ユニットに登録　タイプA・B共通

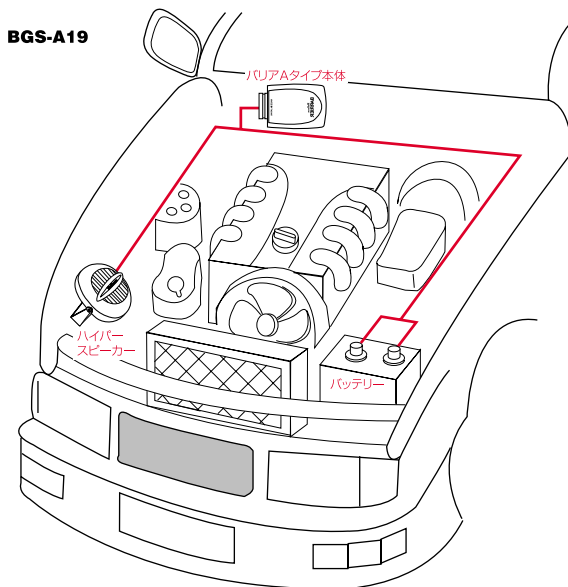
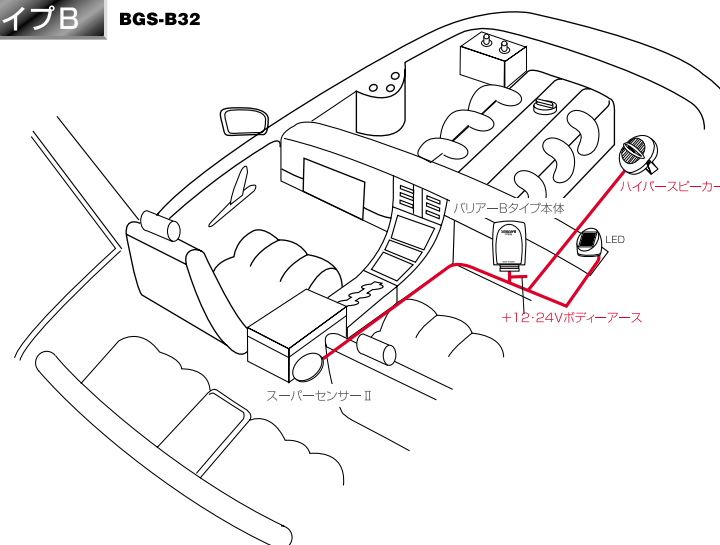
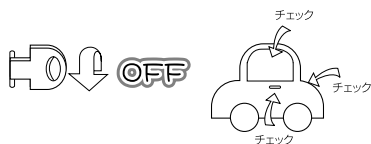
A）リモコンIDコードを、本体ユニットに登録にする

①全ての配線及びコネクターを差し込んだ状態でリモコン①又は、⑪ボタンのどちらかを本体に向けて押します。リモコン①ボタンを押した時、ピッと確認音がなり、本体がONになります。リモコン⑪ボタンを押した時、ピピッと確認音がなります（本体はOFF）。IDコードは製造番号が入力されます。
これで、登録終了です。

取り付け完成参考例―タイプA・B共通

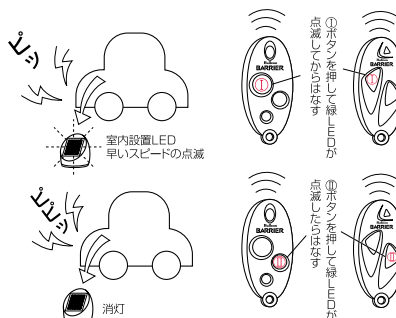
タイプA　BGS-A19

タイプB　BGS-B32

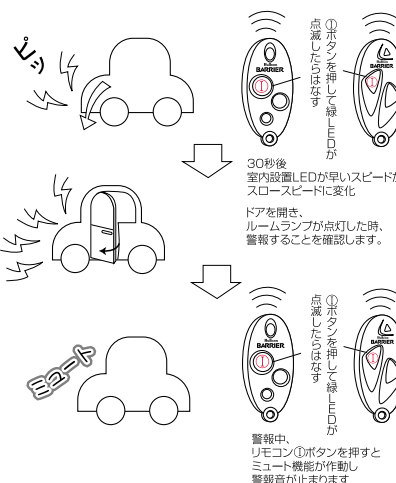
本体テスト方法《1》──タイプA・B共通

A）テストをする前に

①エンジンキーをOFFにしてエンジンを停止します。
②全てのドア・トランク・窓・サンルーフ等を完全に閉めてくださ

注　意	
	ドア等が完全に閉まっていないとテストが不十分になる恐れがあります。

以下の手順で、正常に作動しない場合はP28のトラブルシューティングを参照して下さい。

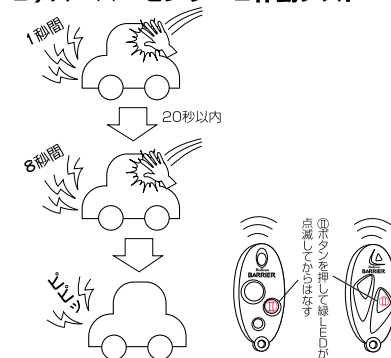
B）ON・OFFテスト

①リモコン①ボタンを押して、緑LEDが点灯しましたらボタンから離します。この時、赤LEDが点滅してスピーカーから確認音がピッとなり、室内設置LEDが早いスピードで点滅（30秒後スロースピード）する事を確認します。（タイプAの場合は、30秒間時間を計測して下さい。）
この状態がONです。
②リモコン⑪ボタンを押して、緑LEDが点灯しましたらボタンから離します。この時、赤LEDが点滅してスピーカーから確認音がピピッとなり、室内設置LEDが消灯する事を確認します。
この状態がOFFです。（タイプAの場合、確認音のみ）

注　意	
	タイプAは、LEDキットが付属されておりません。 オプションパーツのLEDキットが必要です。 LEDキット　高輝度　青　BL−24B　定価¥2,480 　　　　　　高輝度　白　BL−24W　定価¥2,480 　　　　　　高輝度　赤　BL−24R　定価¥2,480

C）ドア解放時警報テスト

①リモコン①ボタンを押して、本体をONにします。
②30秒後、室内設置LEDが早いスピードからスロースピードに変わる事を確認します。
タイプAの場合は、30秒間時間を計測してください。
③ドアを開き、ルームランプが点灯した時に警報する事を確認します。この時、運転席側、助手席側ドアを共に確認してください。
④警報音が鳴っている時、リモコン①ボタンを押すとミュート機能が作動して警報音が止まります。但し、本体はONの状態です。

注　意	
⚠	必ずルームランプはドアが開いた時、点灯するようにしてください。
	一部感知しない車があります。その場合は、ドアスイッチ線を配線して下さい。（P10参照）
	電流パルスセンサーは約30秒間警報 ドアスイッチへの配線をおこなっている場合は約60秒間警報します。

本体テスト方法《2》──タイプA・B共通

D）スーパーセンサーⅡ作動テスト

①本体ON時、車両ボディ又は、ウィンドウガラス等を軽く叩いた時、約1〜2秒間警報する事を確認してください。
尚、感度の強弱は後に設定いたします。
②確認後、20秒以内に再度衝撃を与えた時約8秒間警報する事を確認してください。
リモコン⑪ボタンを押して本体をOFFにします。

注　意	
	衝撃テストの際、ボディ及びガラスを破損させないように注意してください。
	感度調整は後に設定をおこないます。

E）リモコンエンジンスターター対応テスト──リモコンエンジンスターター付き車のみ

①リモコン①ボタンを押して、本体をONにします。
②約30秒後、室内設置LEDがスロースピードの点滅に変わります。
タイプAの場合は、30秒間時間を計測してください。
③リモコンエンジンスターターのリモコンでエンジンを始動します。
この時、室内設置LEDが点灯状態に変わり警報しない事を確認してください。
タイプAの場合は、警報しない事を確認してください。
④リモコン⑪ボタンを押して本体をOFFにして、エンジンを停止

F）ターボタイマー対応テスト──ターボタイマー付き車のみ

①エンジンを始動してください。
②エンジンキーをOFFにしてターボタイマーを作動させてください。
③リモコン①ボタンを押して本体をONにしてください。
この時、室内設置LEDが点灯する事を確認してください。（タイプAの場合は、警報しない事を確認して下さい。）
④ターボタイマー停止（エンジン停止）後、室内設置LEDが早い点滅になり約30秒後スロースピードに変わります。
タイプAの場合は、30秒間時間を計測してください。
⑤車両ボディ等を軽く叩いて警報する事を確認してください。
⑥リモコン⑪ボタンを押して本体をOFFにしてください。

注　意	
	衝撃テストの際、ボディ及びガラスを破損させないように注意してください。
	感度調整は後に設定をおこないます。

感度調整方法《1》──タイプA・B共通

感度調整は8段階の設定ができます。調整する場合は以下の手順でおこなってください。
又、リモコンでの設定の為、車両側近でおこなってください。

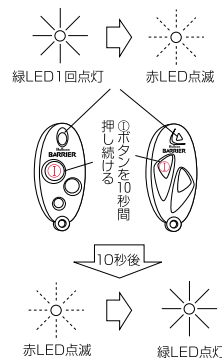
A）感度調整モードにする

緑LEDが1回点灯した後、赤LEDが点滅します。

赤LED点滅　緑LED点灯

赤LED点滅から緑LED点灯に変わり、
受付開始をお知らせします。
ハイパースピーカーから確認音がピッと鳴ります。

①リモコン①ボタンを約10秒間押しつづけます。
緑LEDが1回点灯した後、①ボタンを押している間、赤LEDが点滅します。
②約10秒後、赤LED点滅から緑LED点灯に変わり、感度調整受付開始をお知らせします。ハイパースピーカーから確認音がピッと鳴りLEDが点滅します。

注意	感度調整はスーパーセンサーⅡの感度です。
	リモコン①ボタンを押し続ける際、赤ランプ点滅中にリモコンボタンを外すと、本体ユニットがOFFの時はONになります。
	感度調整受付にならない場合、電池が消耗している可能性があります。電池電圧レベルを調べていただくか、電池を新品に交換してください。

B）感度を上げる場合

リモコン①ボタンを押して感度を上げる度

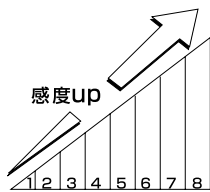
緑LED点灯後、ボタンをはなすと赤LED点滅

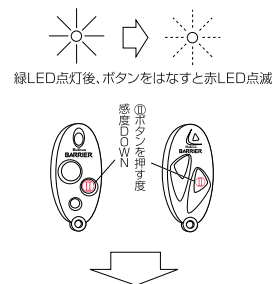
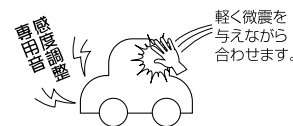
車のボディーを軽く叩き、感度調整専用音で確認しながら、最適な感度に合わせます。

①感度調整受付開始後、リモコン①ボタンを押して、緑LED点灯後ボタンを離すと、赤LEDが点滅して感度が上がります。（8段階）この時、車のボディ等を軽く叩き、感度調整専用音で確認しながら最適な感度に合わします。感度を上げる度、ハイパースピーカーからピーと確認音が鳴ります。
感度が8段階最高値になると赤LEDのみ点滅して感度が最大であることをお知らせします。

注意	感度調整中、約30秒間ボタンを押さなかった場合、自動的に終了します。この時、感度は最終レベルを記憶します。

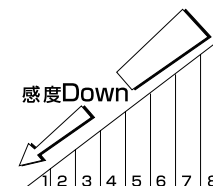
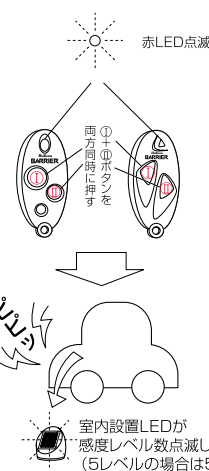
感度調整方法《2》──タイプA・B共通

C）感度を下げる場合

リモコン⑪ボタンを押して感度を下げる度

緑LED点灯後、ボタンをはなすと赤LED点滅

車のボディーを軽く叩き、感度調整専用音で確認しながら、最適な感度に合わせます。

①リモコン⑪ボタンを押して、緑LED点灯後ボタンを離すと、赤LEDが点滅して感度が下がります。（8段階）
この時、車のボディ等を軽く叩き、感度調整専用音で確認しながら最適な感度に合わします。
感度を下げる度、ハイパースピーカーからピーと確認音が鳴ります。
感度が8段階最低値になると赤LEDのみ点滅して感度が最低であることをお知らせします。

注意	感度調整中、約30秒間ボタンが押されなかった場合、自動的に終了します。この時、感度は最終レベルを記憶します。

D）感度決定

室内設置LEDが
感度レベル数点滅します。
（5レベルの場合は5回点滅）

①感度調整終了後、リモコン①と⑪ボタンを同時に押すか又は、30秒間放置します。
この時、赤LEDが点滅して室内設置LEDが感度レベル数点滅します。
例･･･5レベルの場合は5回点滅します。
以上で感度は決定されました。

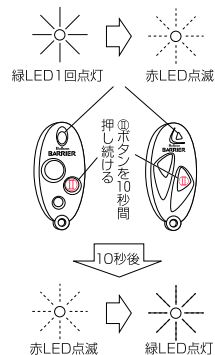
注意	室内設置LED点滅はタイプAの場合、オプションパーツが必要です。

感度を上げすぎると誤作動の原因となる恐れがありますのでご注意ください。

音量調整方法《1》──タイプA・B共通

音量調整は8段階の設定ができます。調整する場合は以下の手順でおこなってください。
又、リモコンでの設定の為、車両側近でおこなってください。

A）音量調整モードにする

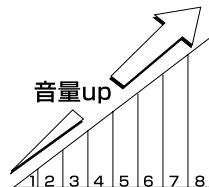
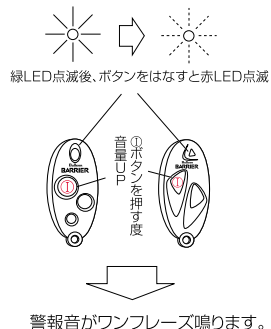
緑LEDが1回点灯した後、赤LEDが点滅します。

赤LED点滅から緑LED点灯に変わり、
受付開始をお知らせします。

①リモコン①ボタンを約10秒間押しつづけます。
緑LEDが1回点灯した後、①ボタンを押している間、赤LEDが点滅します。
②10秒後、赤LED点滅から緑LED点灯に変わり、音量調整受付開始をお知らせします。

注意	
注　意	音量調整はスーパーセンサーⅡの音量です。ドアオープン時（電流パルスセンサー・ドアスイッチ感知）は音量調整に関係なく最大音量で警報します。
	リモコン①ボタンを押し続ける際、赤ランプ点滅中にリモコンボタンを外すと、本体ユニットがONの時はOFFになります。
	音量調整受付にならない場合、電池が消耗している可能性があります。電池電圧レベルを調べていただくか、電池を新品に交換してください。

B）音量を上げる場合

リモコン①ボタンを押して音量を上げる度

警報音がワンフレーズ鳴ります。

①音量調整受付開始後、リモコン①ボタンを押して、緑LED点灯後ボタンを離すと、赤LEDが点滅して音量が上がります。（8段階）この時、ハイパースピーカーから警報音が1フレーズ鳴り音量の確認ができます。
音量が8段階最高値になると赤LEDのみ点滅して音量が最大であることをお知らせします。
②オプション、スモールフラッシュ（BF-39L価格4,200円　タイプBのみ）を取り付けた場合、スモールランプも点滅します。

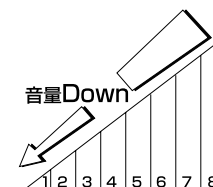
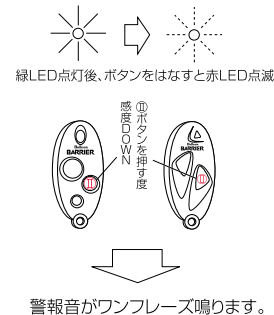
注意	
注　意	音量調整中、約30秒間ボタンを押さなかった場合、自動的に終了します。この時、音量は最終レベルを記憶します。

音量調整方法《2》──タイプA・B共通

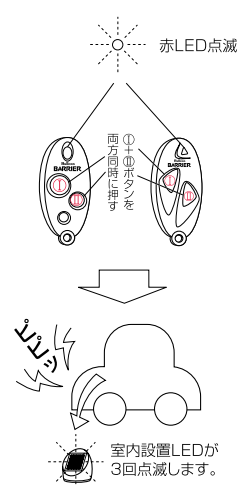
C）音量を下げる場合

リモコン⑪ボタンを押して音量を下げる度

緑LED点灯後、ボタンをはなすと赤LED点滅

警報音がワンフレーズ鳴ります。

①音量調整受付開始後、リモコン⑪ボタンを押して、緑LED点灯後ボタンを離すと、赤LEDが点滅して音量が下がります。（8段階）この時、ハイパースピーカーから警報音が1フレーズ鳴り音量の確認ができます。
音量が8段階最高低になると赤LEDのみ点滅して音量が最低であることをお知らせします。
②オプション、スモールフラッシュ（BF-39L価格4,200円　タイプBのみ）を取り付けた場合、スモールランプも点滅します。

注意	
注　意	音量調整中、約30秒間ボタンが押されなかった場合、自動的に終了します。この時、音量は最終レベルを維持します。

D）音　量　決　定

室内設置LEDが
3回点滅します。

①音量調整終了後、リモコン①と⑪ボタンを同時に押すか、又は、30秒間放置して下さい。
この時、赤LEDが点滅して室内設置LEDが3回点滅して確認音が1回鳴ります。
以上で音量は決定されました。

注意	
注　意	室内設置LED点滅はタイプAの場合、オプションパーツが必要です。

本体使用方法/通常使用—タイプA・B共通

①

①エンジンを停止します。

②

②各窓、ドアを完全に閉めてロックします。

注意	窓等が少しでも開いていると誤作動の原因となる恐れがあります。

③

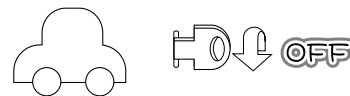
③リモコン①ボタンを押して本体をONにします。
この時、本体からピッと案内音が鳴り、室内設置LEDが約30秒間早いスピードで点滅します。
タイプAの場合は30秒間時間を計測してください。

注意	室内設置LED点滅はタイプAの場合オプションパーツが必要です。

④

④約30秒後室内設置LEDがスロースピードの点滅に変わりスタンバイ（警戒）状態になります。
タイプAでLEDキットを付けていない場合、リモコン⑪ボタンを押して、本体からピッと案内音が鳴った後30秒後にスタンバイ（警戒）状態になります。
この時、車両等に衝撃等異常があれば警報します。

⑤

⑤リモコン⑪ボタンを押して本体をOFFにします。
この時、本体からピピッと案内音が鳴り、室内設置LEDが消灯します。

本体使用方法/リモコンエンジンスターター付き車—タイプA・B共通

①

①エンジンを停止します。

②

②各窓、ドアを完全に閉めてロックします。

注意	窓等が少しでも開いていると誤作動の原因となる恐れがあります。

③

③リモコン①ボタンを押して本体をONにします。
この時、本体からピッと案内音が鳴り、室内設置LEDが約30秒間早いスピードで点滅します。
タイプAの場合は30秒間時間を計測してください。

注意	室内設置LED点滅はタイプAの場合オプションパーツが必要です。

④

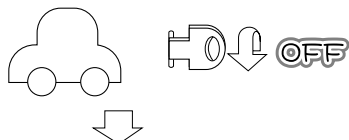
④約30秒後室内設置LEDがスロースピードの点滅に変わりスタンバイ（警戒）状態になります。
タイプAでLEDキットを付けていない場合、リモコン①ボタンを押して、本体からピッと案内音が鳴った後30秒後にスタンバイ（警戒）状態になります。
この時、車両等に衝撃等異常があれば警報します。

⑤

⑤リモコンエンジンスターターでエンジンを始動します。
この時、室内設置LEDが点灯に変わり待機状態になります。
待機状態とは、警報しない状態の事です。

⑥

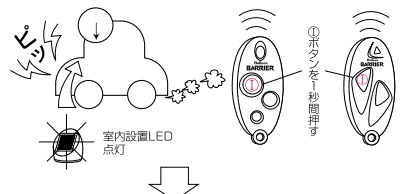
⑥リモコン⑪ボタンを押して本体をOFFにします。
この時、本体からピピッと案内音が鳴り、室内設置LEDが消灯します。

①

①エンジンキーをOFFにします。

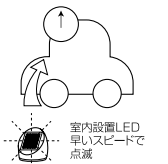
②ターボタイマーが作動します。

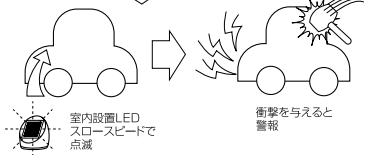
③各窓、ドアを完全に閉めてロックします。

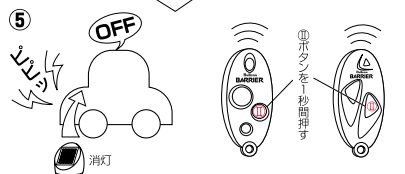
注意	窓等が少しでも開いていると誤作動の原因となる恐れがあります。

③

④ターボタイマー作動中、リモコン①ボタンを押して本体をONにします。この時、本体からピッと案内音が鳴り室内設置LEDが点灯状態になります。

注意	室内設置LED点滅はタイプAの場合オプションパーツが必要です。

④

⑤ターボタイマーがOFFになり、エンジンが停止します。
この時、室内設置LEDが約30秒間早いスピードで点滅します。
タイプAは30秒間時間を計測してください。

⑤

⑥約30秒後室内設置LEDがスロースピードの点滅に変わりスタンバイ（警戒）状態になります。
タイプAでLEDキットを付けていない場合、リモコン①ボタンを押して、本体からピッと案内音が鳴った後30秒後にスタンバイ（警戒）状態になります。
この時、車両等に衝撃等異常があれば警報します。

⑤

⑦リモコン⑪ボタンを押して本体をOFFにします。
この時、本体からピピッと案内音が鳴り、室内設置LEDが消灯します。

操作早見表—タイプA・B共通

	リモコンボタン操作		リモコンLED表示	室内設置LED（タイプAはオプション）	ハイパースピーカー
	タイプA	タイプB			
本体ON	①ボタンを押す	①ボタンを押す	緑LED点灯後ボタンを離すと赤L	早いスピードで約30秒間点滅後、スロースピードに変	ピッ
本体OFF	⑪ボタンを押す	⑪ボタンを押す	緑LED点灯後ボタンを離すと赤L	消　灯	ピピッ
感度調整モード受付	①ボタンを10秒間押す	①ボタンを10秒間押す	緑LED点灯後赤LED点滅。調整モード受付時緑LED点灯	反応無し	反応無し
感度アップ	10秒後 ①ボタンを押す度に感度アップ	10秒後 ①ボタンを押す度に感度アップ	10秒後赤LED点滅から緑LED点灯に変わり受付開始。感度レベル1～8まで緑LED点灯後赤LED点滅。感度レベル8を超えると赤	感度を上げる度に点滅。感度レベル8を超えると点滅しません。	感度調整専用音 車両ボディ等を軽く叩き、感度調整音で確認しな
感度ダウン	10秒後 ⑪ボタンを押す度に感度ダウン	10秒後 ⑪ボタンを押す度に感度ダウン	感度レベル8～1まで緑LED点灯後赤LED点滅。感度レベル1を超えると赤LED点	感度を下げる度に点滅。感度レベル1を超えると点滅しません。	感度調整専用音 車両ボディ等を軽く叩き、感度調整音で確認しな
感度決定	感度調整時 ①+⑪ボタンを同時に押す	感度調整時 ①+⑪ボタンを同時に押す	赤LED点滅	設定感度レベル数分点滅	反応無し
音量調整モード受付	⑪ボタンを10秒間押す	⑪ボタンを10秒間押す	緑LED点灯後10秒間ボタンを押している間赤LED	反応無し	反応無し
音量アップ	10秒後 ①ボタンを押す度に音量アップ	10秒後 ①ボタンを押す度に音量アップ	10秒後赤LED点滅から緑LED点灯に変わり受付開始。音量レベル1～8まで緑LED点灯後赤LED点滅。音量レベル8を超えると赤	音量を上げる度に点滅。音量レベル8を超えると点滅しません。	警報音が1フレーズ鳴ります
音量ダウン	10秒後 ⑪ボタンを押す度に音量ダウン	10秒後 ⑪ボタンを押す度に音量ダウン	感度レベル8～1まで緑LED点灯後赤LED点滅。感度レベル1を超えると赤LED点	音量を下げる度に点滅。音量レベル1を超えると点滅しません。	警報音が1フレーズ鳴ります
音量決定	音量調整完了 ①+⑪ボタンを同時に押す	音量調整完了 ①+⑪ボタンを同時に押す	赤LED点滅	3回点滅	プー
ミュート機能	警報中①ボタンを押す	警報中①ボタンを押す	緑LED点灯後赤LED点滅	通常点滅	警報中にⅠボタンを押す事により、その時点で鳴っている警報については、強制的に停止しますが、以後の警報については、通常通りの警報音を発して警報します。

警報手段及び警報時間・電池交換方法—タイプA・B共通

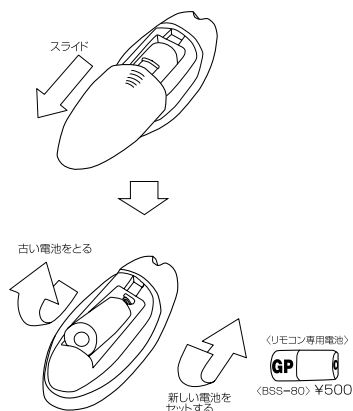
警報手段	警報時間	音量設定
スーパーセンサーII	威嚇警報 （最初の1回目） 約1〜2秒間	可　能 但し、威嚇警報と通常警報の別々の設定は不可
	通常警報 （威嚇警報後20秒以内） 約8秒間	
電流パルスセンサー	30秒間	不　可
ドアスイッチセンサー	60秒間	不　可

電池交換方法　タイプA・B共通

以下のような症状が出たら電池交換時期です。

◎リモコンの飛距離が短くなってきた。
◎リモコンLEDが暗く点灯又は、点滅感度及び音量調整等の設定ができない。

■電池交換方法

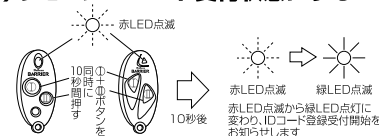
①リモコンの裏蓋を外します。
②電池を抜き取ります。
③新しい電池をセットします。
④裏蓋を元通り閉めて完了です。

⚠ 注意	
	単5電池と形状は似ていますが使用できません。
	電池は当社製品取扱店にてお買い求めください。 一般の電器店では取り扱っていない場合があります。
	付属の電池は動作チェック用の為、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
	電池の寿命は約6ヶ月間ですが使用状況により異なる場合があります。
	リモコン電池電圧が7〜5V以下になりますとCPUを使用している為、正常動作しない場合がありますので早めに交換してください。

リモコンIDコード変更—タイプA・B共通

リモコンIDコードは出荷時、製造番号が登録されています。

注　意
・追加リモコン作成時以外、故意に変更しないでください。
　トラブルの原因となる恐れがあります。
・IDコード入力時、ボタンを押さずに5秒間経過すると赤LEDが点灯し、再入力となります。

《下記に例としまして〈89502〉のIDコードを入力する手順を明記しています。》

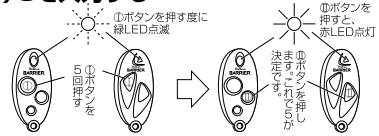
A）リモコンIDコード受付状態にする

①リモコン①と⑪ボタンを両方同時に約10秒間押しつづけます。
押している間、赤LEDが点滅します。
②10秒後、赤LED点滅から緑LED点灯に変わり、IDコード受付開始をお知らせします。

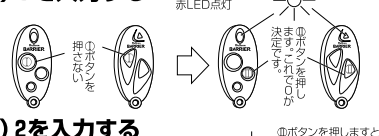
B）8を入力する

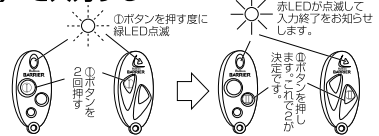
①リモコン①ボタンを8回押します。この時、ボタンを押す度に緑LEDが点滅します。
②リモコン⑪ボタンを1回押します。この時、赤LEDが点滅します。

C）9を入力する

①リモコン①ボタンを9回押します。この時、ボタンを押す度に緑LEDが点滅します。
②リモコン⑪ボタンを1回押します。この時、赤LEDが点滅します。
③これで9が入力されました。

D）5を入力する

①リモコン①ボタンを5回押します。この時、ボタンを押す度に緑LEDが点滅します。
②リモコン⑪ボタンを1回押します。この時、赤LEDが点滅します。
③これで5が入力されました。

E）0を入力する

①リモコン①ボタンを押さずに、⑪ボタンを1回押します。
この時、赤LEDが点滅します。
②これで0が入力されました。

F）2を入力する

①リモコン①ボタンを2回押します。この時、ボタンを押す度に緑LEDが点滅します。
②リモコン⑪ボタンを1回押します。この時、赤LEDが長い間点滅します。
③これで2が入力され、設定終了です。

トラブルシューティング—タイプA・B共通

症　　状	原　　因	対　　策
リモコン①又は⑪ボタンを押した時リモコンLEDが点灯しない	リモコン電池が消耗している	電池を新品に交換してください 専用電池（BSS-80）定価¥500
	リモコンボタンを押して、すぐに離している	ボタンを約1秒間押して、緑LEDが点灯してから離してください
リモコン①又は⑪ボタンを押した時リモコンLEDは点灯するが本体ユニットが反応しない	本体とリモコンの距離が離れすぎている	リモコン飛距離は約10mです。車両にできるだけ近づいて操作をおこなってください。
	車両付近に高圧電線又は無線局がある	高圧電線又は、無線局が近くにある場合リモコン電波を妨害される恐れがあります。場所等を移動してください。
	本体ユニットの配線を誤っている又は接触不良	本体ユニットのアース不良。常時電源線の接続場所変更（ノイズ等による本体ユニットへの影響）。誤配線。
	本体ユニットCPUロック	本体ユニットの常時電源を一度外し、しばらくしてから再度差し込んでください（本体ユニットリセット）
	アンテナ線の先端が金属部分に接触している又は、切断、収納している	アンテナ線を確認してください
車両に衝撃を与えた時警報しない	感度が低い	P18を参照して、感度を上げて下さい
	センサーが感知していない	本体設置場所（タイプA） センサー設置場所（タイプB）の変更
	ハイパースピーカー及びセンサー（タイプB）が接続されていない又はカプラー接触不良。カプラーの極性誤り。	P13を参照して、接続して下さい。各カプラーの接触不良及びカプラーの端子の極性を確認して下さいP11、P12参照。
	ハイパースピーカー及びセンサー（タイプB）線を室内に引き込む際、ボディと干渉して、ショート又は断線。	各線を確認して下さい
ドアを開けた時警報しない	ドアを開けた時、ルームランプが点灯していない	ルームランプのスイッチをDOOR側にして下さい
	ルームランプのワット数が低い	常時電源の接続場所の変更。 上記で反応しない場合は、ドアスイッチ線を配線して下さいP10参照。
	ドアスイッチ線を接続しているのに運転席側のドアのみ反応する	ドアスイッチ線をジャンクションボックス内又はAピラー内に接続して下さい
何もしていないのに勝手に警報する	感度が高すぎる	P19を参照して、感度を下げて下さい。
	本体（タイプA）又はセンサー（タイプB）の固定が不十分	確実に固定して下さい
何もしていないのに 勝手に30秒間警報する	エンジンOFFの時、電流が変化して電流パルスセンサーが感知しているエアサスキット等が装着されている	パルス信号線を切断して、ドアスイッチ線を接続して下さい。P10参照。
	バッテリーが弱っている	バッテリーの比重を確認して充電又は、交換を行って下さい。
雨で鳴る	感度が高すぎる	P19を参照して、感度を下げて下さい
リモコンエンジンスターターでエンジンを始動又はターボタイマー作動中に警報する	イグニッション線（オレンジ線）を接続していない又は、接続場所の誤り	P9を参照して配線をおこなってください
	リモコンエンジンスターター、ターボタイマー側の特性により反応する	パルス信号線を切断してドアスイッチ線を接続して下さい。P10参照

上記以外の症状が発生した場合は、お手数ですが「サービスセンター」にてご相談下さい。
サービスセンター TEL.0795−74−2177　FAX.0795−74−2187

アフターサービスについて・仕様—タイプA・B共通

1. 保証書

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管して下さい。付属の保証書カードは必ずご返送して下さい。

2. 保証期間中の修理

保証期間中は内部機構を触らずに、お買い上げの販売店にお申し付け下さい。保証書の記載内容により、無償修理いたします。

3. 保証期間が切れている時は

保証期間が切れている時は、お買い上げの販売店に、ご相談下さい。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

4. 修理を依頼される時は…

修理を依頼される時は、下記の事項を確認し、販売店又はサービスセンター「お客様相談窓口」にご相談下さい。
①商品名、品番、製造番号
②故障の内容(どの様な症状なのか、いつ頃からか、等出来るだけ詳しくお知らせ下さい。
③お買い上げ年月日及び販売店名
④お客様のお名前、ご住所連絡先等

5. アフターサービスについてご不明な場合

修理サービスや商品についてのご相談は、お買い上げの販売店又はサービスセンター「お客様相談窓口」に、ご相談下さい。
※　本機は高性能な盗難予防機です。盗難防止機ではありません。
万一盗難事故に遭われましても当社は一切の責任を負いません。又、故障・誤動作により警報機が使用できなかった事による付随的損害(代品貸し出し等も含む)の保証につきましても当社は一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。

6. 無償保証規定

①本製品は高度の品質管理を行っておりますが、保証期間中に取り扱い説明書などの注意に従った使用状態で万一故障した場合には保証規定に従い、無償にて交換又は修理させていただきますので販売店又はサービスセンター「お客様相談窓口」まで保証書を添えて、お申し出下さい。
※保証書のない場合には保証対象外となりますのでご了承下さい。
②保証期間内であっても次の様な場合には有償になります。
○保証書の提示がない場合または保証記載内容に不備のある場合。
○商品取り扱い上の誤り、不注意による故障及び損傷。
○不当な修理及び改造による故障及び損傷。
○事故による故障及び損傷。
○消耗品の交換(電池、及び付属部品等)
○保証書に、お買い上げ年月日、販売店名などの所定の記入事項のない場合。あるいは文字を書き換えられた場合。
○故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合。
③ 保証規定は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is vaild only in Jpan)
④ご不明な点がございましたら、お買い上げ販売店又はサービスセンター「お客様相談窓口」にお問い合わせ下さい。

仕　様

項目		仕様
使用電源		DC12V/24V共通
消費電力ST時		18mA
消費電力警報時		350mA
警報		ハイパワー電子ホーン120db
外形寸法	本体	H31×W65×D80mm
	リモコン	H18×W28×D61mm
	スピーカー	直径96×H44
リモコン電池		GP12V/23A×1